

震災への備えを 十分に

◆市長の震災対策への考え方

震災対策の強化は、今や全国的な潮流となっている。

6万7千市民の安全確保は市長の重要な責務であると思つが、震災対策への考えは、

地震列島であることを踏まえ、十分な備えをして出来る限りの減災に努めたい。

◆生きた震災対策づくり

震災対策をより現実的なものとするため、今回の被災地を視察し行政関係者や避難者の声を聴いて、これを生かすことが必要ではないか。

◆総合的な推進役の設置

各種の避難訓練やミニ防災組織の組織化をはじめ、啓発事業などやるべきことがたくさんある。これらを担当する「防災専門官」を置いて、積極的に進めるべきではないか。



熊本市役所の罹災証明受付状況

◆信州F・パワープロジェクトについて

発電事業が遅れているが、

プラント建設に要する時間と30年度稼働は可能か。

答 プラント建設は約2年を要する。稼働については、30年度中にと聞いている。

◆特急あづさの停車実現を保と合わせ尽力してほしい。

問 現在、下り2本、上り1本が塩尻駅を通過している。利用者の利便性確保のため、停車実現に向けた取り組みは。

答 実現に向け要請したい。



平間 正治
(清風クラブ)

第五次総 重点事業と民間連携手法、 本年度松くい虫対策について

◆第五次総 重点テーマ実行状況について

全国各自治体が総合計画、

地方創生を策定する中、いかに実行力、実現力を高めスピーディに成果を創出していくかが問われる。民間のプロジェクト管理の視点から、補正予算時より3か月遅延しているがどう対応するか。

答 市議会の月定例会までには事業手法の検討結果も含め報告する。

◆その他の質問事項

樹幹注入が季節を逸して

いる」ともあり初期段階では費用的にも予防散布が有効である。ただ効率的な高所噴霧が現在難しい状況である。

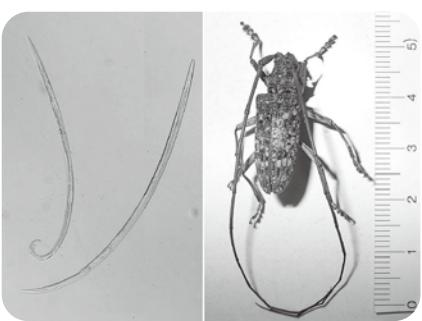
問 最小限の薬剤でのピンポンイント散布のためにドローン活用が有効と考えるが、ドローン技術の実用化と導入を含め研究する。

答 今後、関係課とも導入を「起立性調節障害」について質問した。



村田 茂之
(市政同志会2015)

◆本年度の松くい虫対応—吉田地区での活動を経験して心配だ。松本市と隣接する吉田地区でも市街地型の対策が必要で、被害、費用を勘案すると予防散布が重要であると



松くい虫（左：センチュウ、右：カミキリ）
(画像提供：長野県総合林業センター)